

2025年度 東海大学大学院

第2回 家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では、
家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。

今回は、「**渡辺式**」**家族アセスメント/支援モデル**を用いて分析し、
事例に適したアプローチ方法を検討します。

事例紹介

パーキンソン病と認知症がある膵臓癌末期の70代女性。
虐待が疑われる家族との同居中に体調が悪化し入院。退院調整
は進まず、家族は医療者への不信感を示し対応も難航した。
看護師は余命が短い患者の大切な時期に、家族との関係構築に
苦慮し、看護介入が困難な状況が続いた。

皆さんと一緒に状況を整理し解決の糸口を探します。

プロフィール：小泉織絵（家族支援専門看護師）

東海大学健康科学研究科を修了し、2016年家族支援専門看護師を取得。現在は、東海大学医学部看護学科の教員として日本の家族看護の在り方を追求し、実践と研究の両面から社会への還元を目指し活動している。

【日時】2025年7月12日(土)

【時間】13:00～16:00

【方法】対面開催

【会場】東海大学伊勢原キャンパス 3号館

※参加ご希望の方は当日会場へお越しください。事前申し込みは不要です。



問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（小泉）

ホームページ：<https://kazokuns-tokai.jp>

メールアドレス：ori-koi-ri-yu-mi-ku@tokai.ac.jp

電話：0463-90-2062（直通）

